

## 特別企画1(ネットセミナー) 児童・生徒に対するがん教育

(文部科学省後援)

日時:10月29日(土) 9:00~11:30  
第16会場(2号館1F 211/212会議室)

**目的:** 二人にひとりが“がん”にかかり、三人にひとりが“がん”で死亡する時代を迎えた。まさに国民病である。しかしながら、いまだ“がん”に罹患してはじめてこの疾患を直視することが多く、それまでの生活が根底からゆらぐ体験をすることになる。“がん”は必ずしも不治の病ではない。あらかじめ正確にがんを知り、これに備えることがなによりも重要で、かかる前からの“がん”教育は肉体的精神的に多くの人々を救う。本特別企画では、学校教育、学校保健のなかでぜひとも伝えていただきたいという期待を込めて、全国5大学に教員の方々にもお集まりいただき、成人になる前に学んでおいてほしい“がん”の知識を、双方向ネットワークを利用してセミナー形式で情報発信する。

### モデレーター:

西山正彦 [第49回学術集会会長 埼玉医科大学先端医療開発センター]

古阪 徹 [日本癌治療学会がん診療連携委員会委員長 日本大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学]

タイトル	演者	講演 (質疑) (分)
【基調講演】 学校教育における“がん”教育	森 良一 (文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課教科調査官)	15 (10)
セミナー		
小学校におけるがん教育-3年 間の軌跡と展望-	片野田 耕太 (国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部)	15 10
がんの危険因子と予防 (がんワクチンも含めて)	笹月 静 (国立がん研究センターがん予防・検診研究センター 予防研究部 室長)	15 10
がんの検診:その実際と効果	平井康夫 (東京女子医科大学医学部産婦人科)	15 10
がんの診断と治療の実際	塩崎 均 (近畿大学医学部長)	15 10
家族ががんになった時 (家族の心と生活の変化)	大西秀樹 (埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授)	15 10